

アンケート回答を要約してお知らせします。

Q 1980年代、高レベル放射性廃棄物の地層処分候補地として、全国28道府県88ヶ所の地域が地元自治体に知らされることなく、こっそり調査されていたことをご存知ですか、又そのことをどう思いますか？

ご存知の方は1人(議員)。
知らなかった方で「調査の必要はあろうが、秘密裏にはよくない(議員)」、
「大変卑怯なやり方処理処分方法の確立が先(議員)」、
「そういう情報は公開されるべき(町幹部)」というご意見です。

Q 高レベル放射性廃棄物には、100万年もの間、放射能が減らない物質が入っていることをご存知ですか？

ご存知の方は4人(議員)。
ご存知でないと回答は5人(議員2人、町幹部3人)

Q 新聞報道に関して、記事の内容に間違いはないでしょうか？

「はい」という方は3人(議員2人、町幹部1人)、「いいえ」の方は3人(議員)。「そもそも事実を知らない(議員)」、
「町は関与してないので詳細不明」(町幹部)など。

Q 新聞報道に関してご意見を。

「マスコミを100%信用しないが今回はよくわからない(議員)」、
「研修会に参加したが、その後集まりや協議はない。どこから出た情報か説明して欲しい(議員)」、
「二丈町が誘致の動きをしているように受取れる

報道がなされたので、本町及び近隣市町の住民の皆様等に大変心配をかけ迷惑している」(町幹部)、
「誘致請願に関しては全くのデタラメ(議員)」、
「許されないことが進行しているというのが実感、住民の安全を守るのが自治体の責務。視察や説明会に参加した町幹部や議員は新聞報道の内容を住民に明らかにすべき(議員)」、
「新聞記事については概ね間違いはない。しかし「請願」「誘致」ということについては納得しない。新聞報道は「怖い」。「無機質のペン」で「客観的」に報道されるから、読者の判断によってどうにも解釈される。十分な知識も持たずに勉強会に参加した人、或いは、廃棄物処分は避けてとおれない事実として参加した人、その方達の生活・職業・交際に大きな影響を及ぼす。今まで友達でいた人が、突然敵対しされる。(町幹部)」、
「報道一般に関して読む側は全幅の信頼をおいているが、必ずしも事実の報道ばかりではない。この頃、時として少々事実誤認があることを知りがっかりすることがある(議員)」、
「報道とはできごとを広く世間に知らせること。報道の自由です。何も心配いりません(議員)」

Q 地層処分は世界のどの国も未だ確立できていない技術であることをご存知ですか？

「はい」は3人(議員)。
「いいえ」は4人(議員2人、町幹部2人)。
「知らない」1人(議員)

Q 文献調査が決まると『核のゴミ福岡』という風評がたち一次産品販売や観光に悪影響があると思いますか？

「影響がある」は7人(議員5人、町幹部2人)。
文献調査に応募することは絶対はない(町幹部)。
「わからない」(議員2人)